

ブレースの符号ごとに検定比が最も大きい位置をWordファイルに出力する

本プログラムの説明

- 鉛直ブレースの検定比が最も大きくなる位置を、符号ごとにWordファイル（docx）に出力します。検定比が1.0以上となる場合は、検定比を赤字で示します。

本プログラムの実行方法

1. データ準備

鉛直ブレースを配置した『SS7』データを用意します。
結果1について、断面算定まで計算済にします。

2. パラメータ設定

`Output_Brace_docx.py` ファイルのmain関数の引数を編集して必要なパラメータを設定します。

変数名	説明	デフォルト
version	『SS7』のバージョン ※Ver.1.1.1.20以上を指定してください。	"1.1.1.20"
folder_path	物件データのパス	r"C:\UsrData\Ss7Data\sample.ikn"

3. プログラム実行

コマンドラインからプログラムを実行します。

```
例) C:に「example」というフォルダ名で配置する場合
cd C:\example\src
python Output_Brace_docx.py
```

4. プログラム処理の流れ

- 『SS7』データを開きます。
- 結果CSVを出力します。
- 結果CSVの全部材の検定比を取得し、各階、各符号で最も検定比の大きな部材を検索します。
- 各階、各符号で最も検定比の大きな部材の一覧をWordファイルに出力します。

5. 結果の確認

結果は物件データと同じフォルダ内に、`Brace_Rate.docx`というファイル名で保存されます。

注意事項

- 本プログラムは『SS7』Ver1.1.1.20で動作確認を行いました。
Ver.1.1.1.20未満で使用することはできません。

『Op.Python実行』の設定手順

Ss7Pythonライブラリを使用するための設定手順です。

1. 『SS7』を起動し、[ツール - 環境設定 - Op.Python実行]画面を表示します。
2. “利用可能なPython言語のバージョン”を選択し、[デスクトップへコピー]ボタンをクリックします。
3. デスクトップにある「Python」フォルダごと、「src」フォルダにコピーします。

必要な外部ライブラリ

以下の外部ライブラリをPython実行環境にインストールしてください。

- python-docx 1.1.0

```
pip install python-docx
```

外部ライブラリのライセンスは「LICENSES/ライセンスについて.txt」を確認してください。

著作者

Copyright (C) 2024 UNION SYSTEM Inc.

ライセンス

本プログラムは MIT License に基づいています。「LICENSE」を確認してください。